

お知らせ

東通原子力発電所の原子力災害時における 住民避難に係る検討状況について

避難住民の移動対策

30km圏内住民(対象住民の多いむつ市中心部等)の効率的な避難

放射線被ばくリスクを低減するため、屋内退避を行った上で放射性物質放出後に緊急時モニタリングにより避難対象区域に特定された区域の避難を実施。

1 海路避難の考え方

- 民間船舶の輸送能力を4,392人/日とする。自衛隊には支援を要請するが、艦船の輸送能力は全国的な活動状況により変動し、明確にできないことから避難可能者数の算出には用いない。
- 大湊港が避難指示区域となった場合には、活用しない。(大間港、脇野沢漁港を活用)
- 港までは原則バスを活用するとともに、船舶に乗船する前に避難退域時検査を実施。

2 避難手段毎の避難可能者数について

ア. 民間船舶・バスが1日3往復とした場合

- 避難一般住民の避難は3日以内で可能。船舶の輸送能力を考慮した結果、海路による避難者数は、13,000人程度となる。
- 海路を活用した避難では、その対象・優先度(地理的要因・身体的要因など)を、陸路避難では地区ごとに段階的な避難を行うこと等について今後むつ市と検討。

イ. 民間船舶・バスが1日5往復、自家用車避難の乗り合わせ(3人/台)を実施した場合

- 全住民の避難は3日以内から2日以内に短縮することが可能。
- 船舶のみによる避難は、ほぼ7日で可能。

民間船舶による輸送能力(1日3往復の場合)4,392人/日



このほか、

避難住民の受入対策

医療機関および社会福祉施設等の避難計画

被ばく医療対策

についても、関係市町村や関係機関と情報交換し、方向性や検討内容を確認しました。

今後も関係機関と連携し、実際に起こりうる課題や状況を考慮しながら、避難対策の具体化を図っていきます。

モニタリングに関するお問合せはこちら

青森県環境生活部原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-722-1111(代) 直通: 017-734-9252・9253

青森県原子力センター青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1(青森県環境保健センター内)
TEL: 017-736-5417(代)

青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1
TEL: 0175-74-2251(代)

青森県原子力センター東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34(東通村役場内)
TEL: 0175-27-2111(代)(内線281)



編集・発行 青森県環境生活部原子力安全対策課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9252
発行年月日 平成27年11月18日

このパンフレットは、広報・調査等交付金により作成したものです。この印刷物は71,400部作成し、経費(制作・印刷・配布)は、一部あたり30円です。



原子力環境だより

モニタリング つつしん あおもり

No. 98

2015.11 AUTUMN

平成27年度
第1四半期報

CONTENTS

- 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果①
- 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果……⑤
- リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果⑦
- 環境放射線等モニタリングのしくみ……⑧
- 東通原子力発電所温排水影響調査結果……⑨
- お知らせ～東通原子力発電所の原子力災害時における住民避難に係る検討状況について～⑩⑪



私のふるさと…
むつ市

釜臥山からのむつ市夜景

夜景はアゲハチョウが羽を広げているように見えることから、「夜のアゲハチョウ」と呼ばれ、華やかな美しさで日本夜景遺産にも認定されました。



原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

平成27年度第1四半期(平成27年4月～平成27年6月)の調査結果



平成27年4月～平成27年6月の調査結果は、平成27年10月30日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。」と評価されました。



空間放射線

空間放射線

人間が体外から受ける空間放射線には、宇宙から降りそそいでくるもの(宇宙線)や、大地などからのものがあります。宇宙線の量は、緯度によって差がありますが、同じ場所であればほとんど変わりありません。また、大地などからの放射線の量は、地質の違いなど場所によって差があります。

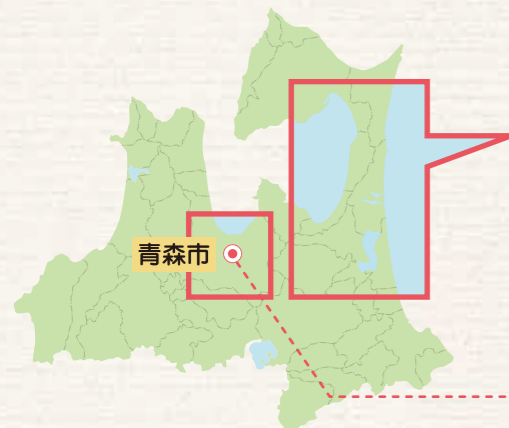
空間放射線は、同じ場所であっても、気象条件などによって変動し、特に、雨や雪が降ると一時的に高くなります。また、雪が積もっている冬の間は、大地からの放射線がさえぎられるため、平均的に低くなります。

空間放射線量率

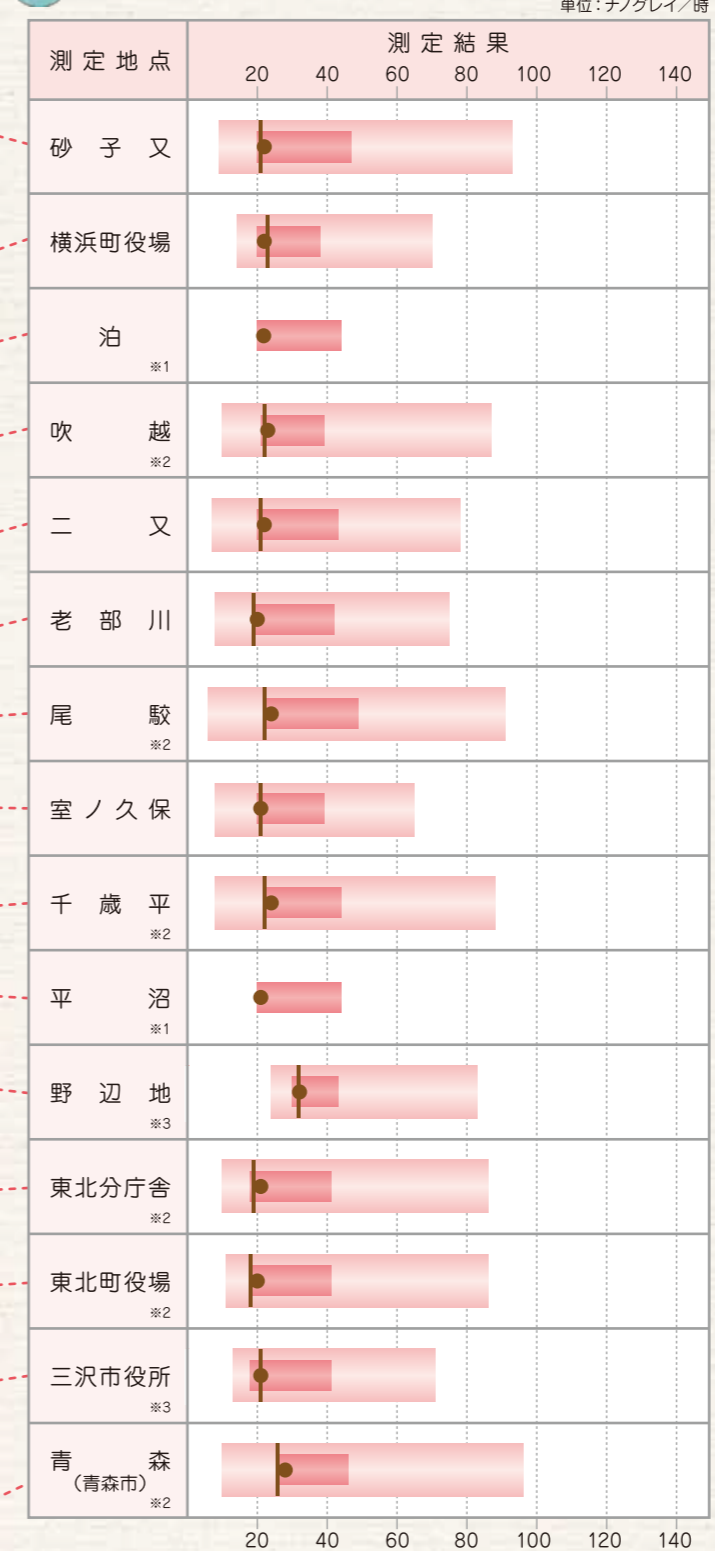
1時間当たりの空間放射線量を表します。この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしているため、グラフに示している空間放射線量率は、主に大地などからの自然の放射線によるものです。

積算線量

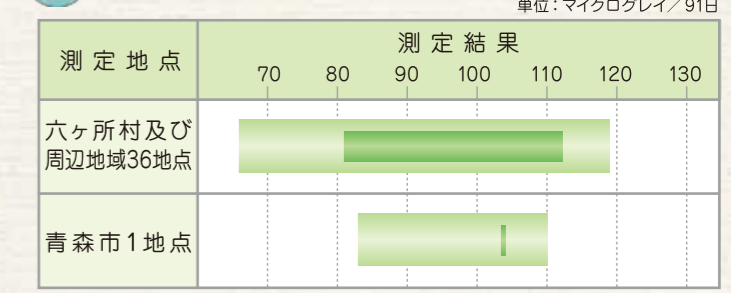
RPLD(蛍光ガラス線量計)をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。



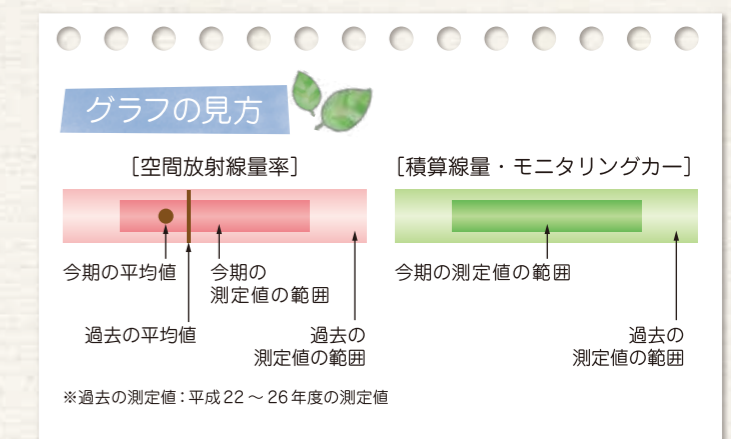
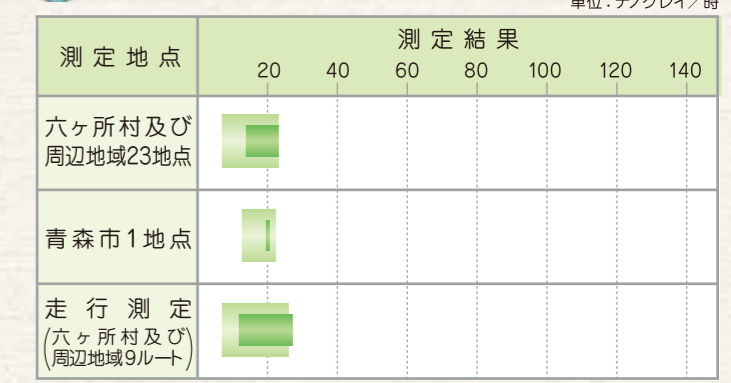
1 空間放射線量率



2 積算線量



3 モニタリングカーによる空間放射線量率



※1.平成26年度に設置場所を移動したため、今期の測定値のみ記載しています。
 ※2.平成22年度に測定器を更新したため、平成23～26年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※3.平成24年1月に設置場所を移動したため、平成24～26年度の測定値を過去の測定値として記載しています。

原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

平成27年度第1四半期(平成27年4月~平成27年6月)の調査結果

環境試料中の放射能

グラフの見方

①大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合

今期の測定値の範囲 平成26年度までの測定値の範囲※3
 検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。
 ※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

②その他の場合

平成26年度までの測定値の範囲※3
 定量下限値 今期の測定値の範囲
 定量下限値※2未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。
 ※2. 定量下限値: 測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。
 ※3. 平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる測定値は除外しています。

ベクレル(Bq):放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3000ベクレル存在します。

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☁️	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-134	~0.1	
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
大気(水蒸気状)	毎月	☀️	トリチウム	~1	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	~0.1	
			ベータ放射能	~0.1	
			ヨウ素-131	~0.1	
			フッ素	~0.1	
大気(気体状)	連続	☁️	セシウム-134	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			ヨウ素-129	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
表土	7月	🌱	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			ヨウ素-129	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
精米	収穫期1回	🌾	炭素-14	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-134	~0.1	
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	



試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	☁️	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-134	~0.1	
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
大気(水蒸気状)	毎月	☀️	トリチウム	~1	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	~0.1	
			ベータ放射能	~0.1	
			ヨウ素-131	~0.1	
			フッ素	~0.1	
大気(気体状)	連続	☁️	セシウム-134	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			ヨウ素-131	~0.1	
			フッ素	~0.1	
降下物	毎月	☔️	セシウム-134	~0.1	ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
			ウラン	~0.1	
雨	毎月	☔️	トリチウム	~1	ベクレル/リットル
			セシウム-134	~0.1	
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
陸水	7, 10月(河川水) 4, 7, 10, 12月(湖沼水)	💧	セシウム-134	~0.1	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.1	
			トリチウム	~1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
陸水	4, 7, 10, 1月(水道水, 井戸水)	💧	セシウム-134	~0.1	ベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.1	
			トリチウム	~1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
陸土	7, 10月(河底土) 10月(湖底土) 7月(表土)	🌱	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			ヨウ素-129	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
牛乳(原乳)	4, 7, 10, 1月	🥛	セシウム-134	~0.1	ベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			ウラン	~0.1	
			フッ素	~0.1	
精米	収穫期1回	🌾	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
			炭素-14	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
野菜	収穫期1回	🥬	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
			炭素-14	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
牧草・デントコーン	5, 8月(牧草) 収穫期1回(デントコーン)	🌱	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
			ウラン	~0.1	
淡水産生物	漁期1回 ワカサギ, シジミ	🐟	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
			ウラン	~0.1	
松葉	4, 10月	🌲	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
海水	4, 7, 10, 1月	🌊	セシウム-134	~0.1	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.1	
海底土	10月	🌱	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	
			ヨウ素-129	~0.1	
海産生物	漁期1回 (ヒラメ, イナダ, アジ, ヒラシガエ, ウニ, コノハ) 4, 10月 (イガイ, ムラサキイガイ)	🌊	セシウム-134	~0.1	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	~0.1	
			トリチウム	~1	
			ストロンチウム-90	~0.1	
			プルトニウム	~0.1	

東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果

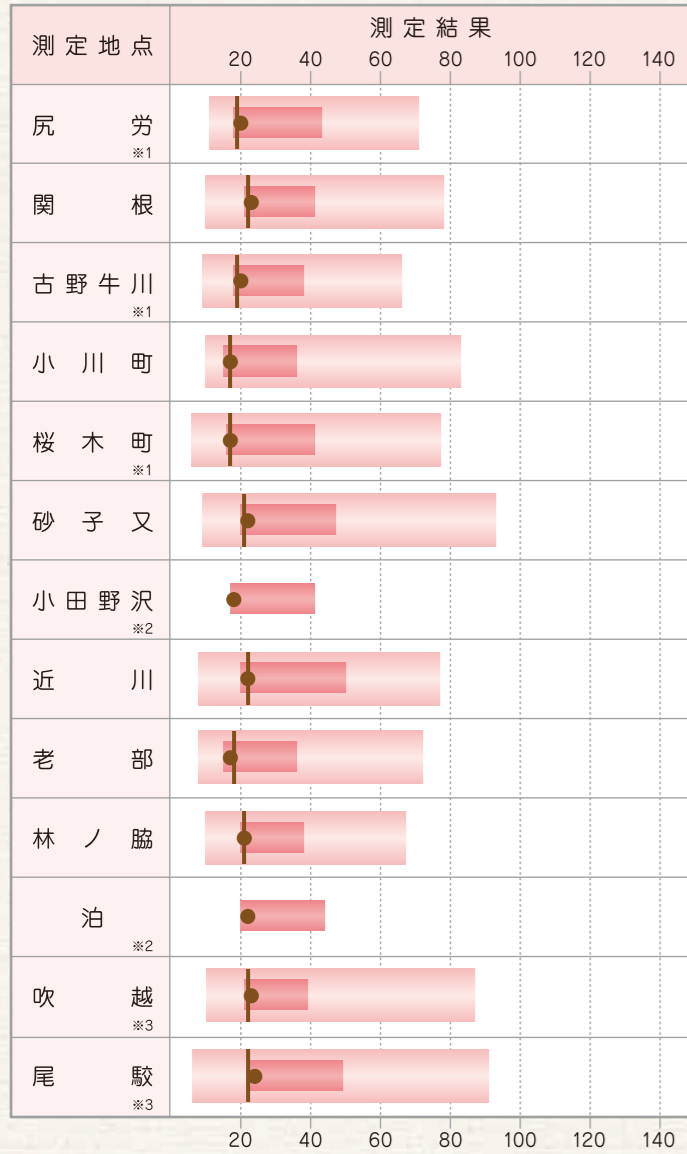
平成27年度第1四半期(平成27年4月～平成27年6月)の調査結果



空間放射線

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1.平成25年4月に測定を開始し、平成25～26年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※2.平成26年度に設置場所を移動したため、今期の測定値のみ記載しています。
 ※3.測定地点を追加し、平成23～26年度の測定値を過去の測定値として記載しています。



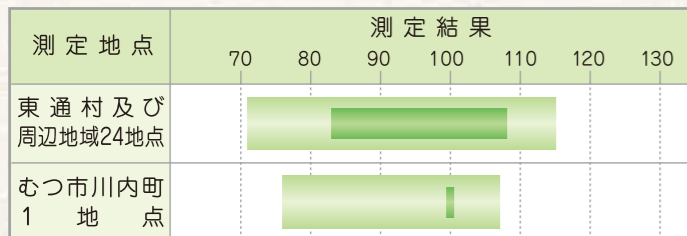
凡例

区分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	◆
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	●
積算線量計	●	●

●: 東北電力株式会社 東通原子力発電所1号機排気筒

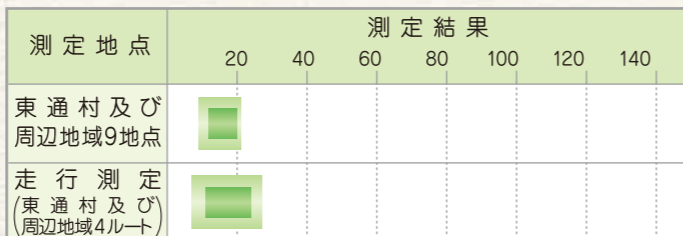
2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日

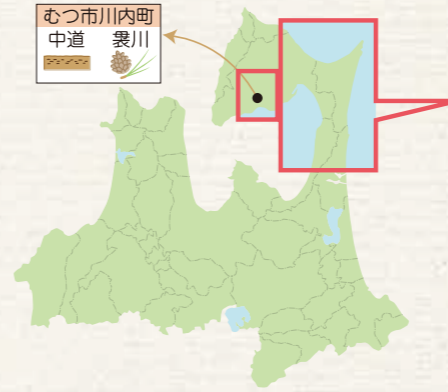


3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



平成27年4月～平成27年6月の調査結果は、平成27年10月30日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。」と評価されました。



●: 東北電力株式会社東通原子力発電所1号機排気筒

環境試料中の放射能

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	放射能				単位
				0.0001	0.001	0.01	0.1	
大気浮遊じん	連続	☁	全ベータ放射能	約 0.01				ベクレル/立方メートル
			セシウム-134	約 0.01				ベクレル/立方メートル
大気(気体状)	連続	☁	ヨウ素-131	約 0.01				ベクレル/立方メートル
			セシウム-134	約 0.01				ベクレル/立方メートル
降下物	毎月	☔	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/平方メートル
			ストロンチウム-90	※今期は対象外				ベクレル/平方メートル
			プルトニウム	※今期は対象外				ベクレル/平方メートル
陸水	4.10月(河川水) 4.7.10.1月(水道水) 7.1月(井戸水)	💧	セシウム-134	約 0.01				ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	約 0.01				ミリベクレル/リットル
			トリチウム	※今期は対象外				ベクレル/リットル
表土	7月	🌱	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
精米	収穫期1回	🍶	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
野菜	収穫期1回 (ハレシヨ、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、アブラナ)	🥬	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			ヨウ素-131	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	※今期は対象外				ベクレル/キログラム生
牛乳(原乳)	4.7.10.1月	🥛	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/リットル
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/リットル
牛肉	1月	🐄	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
牧草	収穫期2回	🌿	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
松葉	5.11月	🌲	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
海水	4.7.10.1月	🌊	セシウム-134	約 0.01				ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	約 0.01				ミリベクレル/リットル
海底土	7月	🏠	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
海産生物	漁期1回 (ヒラメ、カレイ、ウスマハシ、コウソウメ、アイナメ、ホタテ、アサリ、コンブ、タコ、ウニ、4.10月(チガイ)、7.1月(ムラサキガイ))	🐟	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			ヨウ素-131	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	※今期は対象外				ベクレル/キログラム生
むつ市川内町	7月	🌱	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム乾
松葉	5.11月	🌲	セシウム-134	約 0.01				ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	約 0.01				ベクレル/キログラム生

リサイクル燃料備蓄センターに係る 環境放射線モニタリング結果

平成27年度第1四半期(平成27年4月～平成27年6月)の調査結果

空間放射線

むつ市において、現在リサイクル燃料貯蔵株式会社により「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われています。県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターに係る環境放射線の事前調査を実施しています。

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時

測定地点	測定結果						
	20	40	60	80	100	120	140
関根	[Bar chart showing measurement results for Kanane]						
美付	[Bar chart showing measurement results for Misaki]						

※美付は平成22年10月に測定を開始しました。

2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日

測定地点	測定結果						
	70	80	90	100	110	120	130
むつ市及び周辺地域7地点	[Bar chart showing measurement results for Mutsu city and surrounding areas]						
むつ市川内町1地点	[Bar chart showing measurement results for Mutsu City Kawachi-cho]						

3 環境試料中の放射能

試料の種類	採取時期	記号	測定結果							単位	
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100		400
東通村及びむつ市	土	7月	[Symbol]	[Bar chart showing measurement results for soil in Higashi Tsuno Village and Mutsu City]							ベクレル/キログラム乾
				※今期は対象外							
川内町	葉	5.11月	[Symbol]	[Bar chart showing measurement results for leaves in Kawachi-cho]							ベクレル/キログラム生
				※今期は対象外							

★グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。

グレイ(Gy): 吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を数値に表したものです。

シーベルト(Sv): 実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、自然界から年間平均2.4mSv(ミリシーベルト)の放射線量を浴びています。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvとされています。

- 1Gy (グレイ)
 - ≡ 1,000mGy (ミリグレイ)
 - ≡ 100万μGy (マイクログレイ)
 - ≡ 10億nGy (ナノグレイ)
- 1Sv (シーベルト)
 - ≡ 1,000mSv (ミリシーベルト)
 - ≡ 100万μSv (マイクロシーベルト)
 - ≡ 10億nSv (ナノシーベルト)



環境放射線等 モニタリングのしくみ

県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。

- 六ヶ所原子燃料サイクル施設
- 東通原子力発電所
- むつリサイクル燃料備蓄センター

1 監視測定



2 データの評価・確認

青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長
- 知事以下県職員など

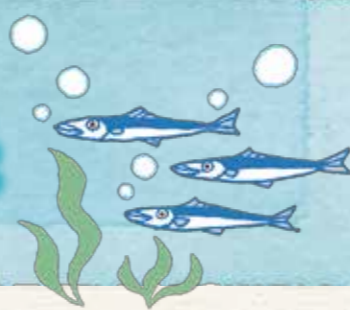


3 データの公表

- 広報誌「モニタリングつうしんあおもり」
- ラジオ・新聞広告
- ホームページ「青森県の原子力安全対策」HPアドレス → <http://www.aomori-genshiryoku.com/>

東通原子力発電所 温排水影響調査結果

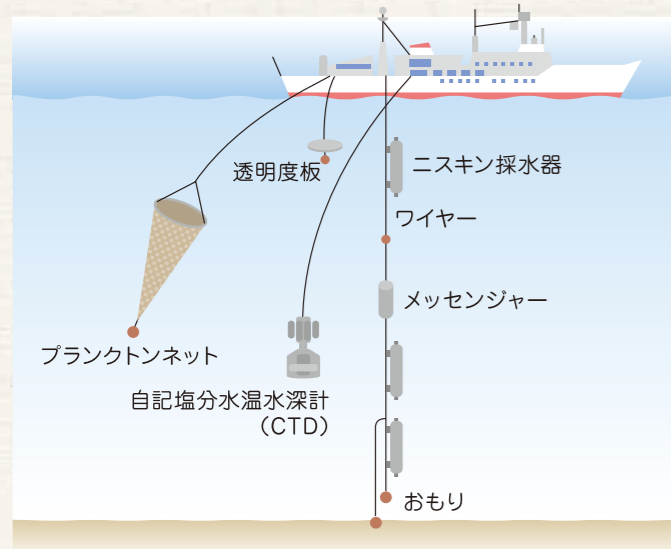
平成27年度第1四半期(平成27年4月～平成27年6月)の調査結果



青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため調査を実施しています。

水温・塩分

24調査地点において水温、塩分の測定を行った結果、表層の水温は、11.1～12.8℃、塩分は33.7～33.9の範囲でした。



流況

2調査地点において流向、流速の測定を行った結果、北～北東及び南～南南西に向かう流れが卓越し、流速は40cm/sまでが大部分でした。

海藻草類・底生生物

4調査線において分布状況を調査した結果、サビ亜科等61種の海藻草類と、キンコ科等5種の底生生物(平均個体数18個体/m²)が確認されました。

卵・稚仔、プランクトン

6調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した結果、カレイ科、キュウリエソ、メイタガレイ属の3種の卵の出現が確認されました。また、メバル属、スケトウダラ、キツネメバル、ムラソイの稚仔の分布が確認されました。

6調査地点において動物プランクトン及び植物プランクトンの出現状況を調査した結果、主として節足動物プランクトン及び黄色植物プランクトンの分布が確認されました。



水質

8調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
水素イオン濃度(pH)	—	8.0～8.1
化学的酸素要求量(COD)		
酸性法	mg/ℓ	1.5～2.5
アルカリ性法	mg/ℓ	0.3～0.4
溶存酸素量(DO)	mg/ℓ	9.1～9.6
透明度	m	7.0～10.0
浮遊物質(SS)	mg/ℓ	定量下限値未満～4
全窒素(T-N)	mg/ℓ	0.12～0.25
全リン(T-P)	mg/ℓ	0.014～0.017

底質

3調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
化学的酸素要求量(COD)	mg/g 乾泥	0.4～1.2
強熱減量(IL)	%	1.4～3.7
全硫化物(T-S)	mg/g 乾泥	定量下限値未満

東通原子力発電所温排水影響調査に関するお問合せ先は、右記の機関です。

青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL:017-722-1111(代)(内4658) 直通:017-734-9592

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10 TEL:017-755-2155



おしらせ 東通原子力発電所の 原子力災害時における 住民避難に係る検討状況について

県では、関係市町村とともに、移動対策、避難住民の受入対策など、広域避難に係る課題を検討しています。

平成27年9月15日には、原子力災害避難対策検討会を開催し、東通原子力発電所の原子力災害時における住民避難に係る検討状況を次のとおり示しました。

避難住民の移動対策

前提

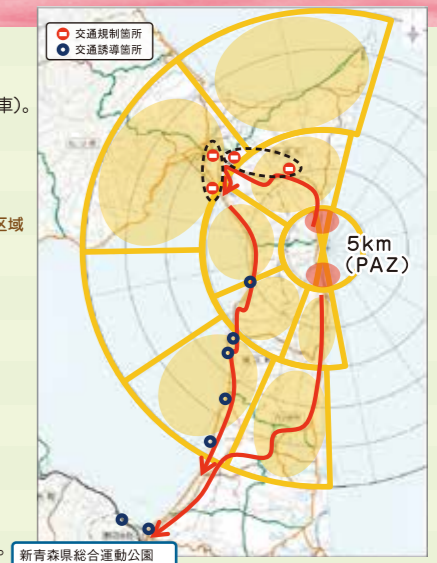
- 自家用車は1世帯1台利用。バスは1台40人乗車(避難行動要支援者1人につき付添い1名乗車)。
- 船舶は、下北地域に関連のある民間船舶事業者の輸送能力を県が算出。

【用語解説】

- PAZ (Precautionary Action Zone) 予防的防護措置を準備する区域
原子力発電所については、施設から概ね半径5キロメートル以内の区域
- UPZ (Urgent Protective Action Planning Zone) 緊急時防護措置を準備する区域
原子力発電所については、施設から概ね半径30キロメートル以内の区域

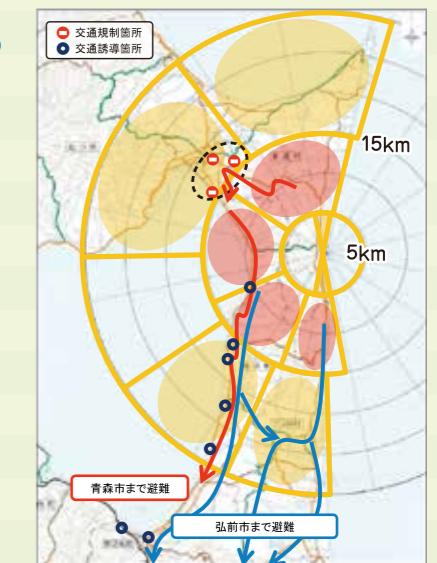
PAZ圏住民(東通村)の迅速な避難

- 1 避難行動要支援者の避難について
 - 施設敷地緊急事態時に避難。
 - バス4台(施設北側2台、南側2台)で速やかに避難。
- 2 住民の避難について
 - 全面緊急事態発生時(放射性物質放出前)に避難。
 - 【施設北側】むつ市中心部からの車両流入による渋滞・混雑を防ぐため、4箇所で交通規制を実施するとともに、信号・踏切において交通誘導を実施。
 - 【施設南側】発電所に近い老部地区から白糠地区へと段階的に避難を実施。



5km～15km圏内住民(東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村)の優先的な避難

- 放射線被ばくリスクを低減するため、屋内退避を行った上で放射性物質放出後に緊急時モニタリングにより避難対象区域に特定された区域の避難を実施。
- 各市町村の避難計画については「避難行動要支援者はバスで避難し、他は自家用車避難」を基本とする。
- 東通村及びむつ市
むつ市中心部からの車両の流入を抑えるためPAZ圏内北側と同様の交通規制(東通村役場付近の規制を除く)や交通誘導を実施。
- 横浜町
国道279号を経由し、下北縦貫道路を通行することを基本とする。
- 六ヶ所村
村内から東北町を経由して避難する。



空間放射線量率等の測定結果はこちらから確認できます。

パソコン用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1>

携帯電話用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1/m/index.cgi>